

新西市民病院整備基本方針について

1. 基本方針策定の経緯

市の将来的な医療需要及び医療提供体制や、西市民病院が抱える課題等を踏まえ、西市民病院の今後の市街地西部の中核病院としてのあり方を検討するにあたり、専門的な見地及び市民の立場から幅広く意見を求めることを目的として、令和 2 年 6 月に「西市民病院（市街地西部の中核病院）のあり方検討に係る有識者会議」を設置。

必要な医療機能や再整備の方向性について議論を重ね、令和 3 年 5 月 11 日に有識者会議より報告書を市長に提出。その内容を踏まえ、本市において「新西市民病院整備基本方針（案）」を策定し、令和 3 年 6 月 4 日に公表。その後、令和 3 年 6 月 22 日から令和 3 年 7 月 21 日までパブリックコメントを実施し、市民の皆様の意見等も反映して、「新西市民病院整備基本方針」を策定。

2. 基本方針（案）に対する市民意見募集（パブリックコメント）の実施

- (1) 募集期間 : 令和 3 年 6 月 22 日（火）～令和 3 年 7 月 21 日（水）
 - (2) 提出意見数 : 21 件（※住所の記載不備により、参考扱いとするものが別途 18 件）
 - (3) 主な意見
 - ・若松公園に移転することで便利になる。
 - ・子どもの遊び場を十分にとってほしい。
 - ・未就学児から高齢者まで多くの人の憩いの場となっており、公園が小さくなることは反対である。
 - ・開院時期を早めてほしい。
- ※その他の意見及び本市の考え方は別紙参照

3. 基本方針（案）からの主な変更点

- (1) 「4 建設予定地」に若松公園のリニューアルについて記載。
- (2) 「6 スケジュール（予定）」について、新病院の開院予定時期を令和 11 年度頃から令和 10 年度に変更。

新西市民病院整備基本方針（案）に関する市民意見募集の結果について

1. 募集期間：令和3年6月22日（火曜）から令和3年7月21日（水曜）まで

2. 提出意見数：21件

- ・新病院のコンセプト・基本方針に関する意見 2件
- ・建設予定地に関する意見 12件
- ・今後の検討事項に関する意見 3件
- ・スケジュールに関する意見 3件
- ・その他の意見 1件

※住所の記載不備により、参考扱いとするものが別途18件

※意見は、趣旨を損なわない程度に要約

○新病院のコンセプト・基本方針（2件）

	ご意見の内容	神戸市の考え方
1	がん治療にも力を入れてほしい。	<p>西市民病院では、患者の負担が少ない手術支援ロボットによる手術をはじめとした高水準の治療を積極的に行うとともに、化学療法の実施等、専門的ながん診療機能を有する病院としての役割を担ってきました。</p> <p>今後も市街地西部の中核病院として、がん治療の機能強化を図り、市街地西部内（兵庫区・長田区・須磨区本区）で診療を完結させる割合を高め、地域住民の通院治療の負担軽減や就労者の治療支援につながるよう、検討を進めていきます。</p>
2	<p>基本方針の担うべき役割・機能にある、「新病院は、なくてはならない社会インフラとして医療を提供し、中核病院としての役割を果たし続ける」との方針に賛同する。ただ、現在の西市民病院は、阪神・淡路大震災後、ガスコージェネレーションによる分散型電源の設置等によるBCP対策がなされているが、今回の基本方針には自然災害発生時の病院施設の機能維持に関するBCP対策についての内容が記載されていない。</p> <p>そこで、なくてはならない社会インフラと</p>	<p>新病院では、大規模災害時などの非常事態の際にも診療機能を継続するため、医療スタッフやインフラを確保するとともに、建設予定地である若松公園を病院と一体的に活用することで、トリアージや支援スタッフ受入れ等のスペースを確保し、災害対応機能の強化を図ります。</p> <p>病院施設の機能については電源の多重化をはじめ免震構造の採用、飲料水・食料・医薬品等の備蓄を行うなど、災害時に必要な医療を提供できるよう検討を進めていきます。</p>

	して医療を提供し続けるために、現在の西市民病院と同様、新病院においても中圧ガスパの利用や停電対応型ガスコージェネレーションシステム等の分散型電源を導入し、電源の多重化を図るべきと考える。	
--	---	--

○建設予定地（12件）

	ご意見の内容	神戸市の考え方
1	地元会社としては、大変喜んでおり大賛成である。	<p>建設予定地の選定にあたっては、学識経験者や医療関係者、住民代表の方からなる有識者会議の意見を踏まえ、本市で検討を進めてきました。その結果、①多くの市民にとって交通便利性の向上が期待できること、②防災機能の強化が期待できる立地で、災害時のトリアージに使えるスペースを確保できること、③まちづくりとの連携により、地域活性化に寄与できることといった総合的な観点から、若松公園を建設予定地として決定しました。</p> <p>今後も市民の皆様安全で質の高い医療を提供し続けるとともに、人々が交流できる憩いの場として、まちづくりや地域活性化に寄与し、市街地西部の中核病院としての役割を果たしていきます。</p>
2	若松公園への移転は大賛成である。地下鉄で行けるので非常に便利になる。	
3	新長田、若松公園に移転することでとても便利になる。	
4	駅前の便利な場所への移転新築に賛成である。公園や店舗等が隣接する周辺環境も良い。	
5	若松公園は休日にはかなりの子どもが来ている。子どもの遊び場は十分にとってほしい。	<p>若松公園は、非常に重要な都市インフラであるため、今回の病院整備と併せて公園全体をリニューアルすることで、子どもが遊ぶことができるスペースを含む公園機能を維持したいと考えています。</p> <p>現状の若松公園は、北側に遊具のある子どもの遊び場、中央部に高木のある植栽帯、南側にグラウンドがあり、新病院は北側に建設する予定です。新病院の建設に伴い、中央部</p>
6	立地面で反対で再検討してほしい。若松公園は開放感があり、子どもを安心して遊ばせられる貴重なスペースである。病院を整備して高齢者に向けた福祉の充実も分かるが、子育て世帯のQOLの充実の観点で別の場所に建設してほしい。	

7	<p>若松公園は未就学児から高齢者まで多くの人の憩いの場となっており、駅近くで広く、緑の多い公園はとても貴重だと思う。そのため公園を整備し病院にすることは反対である。整備後にも遊具を作ったりすることだが、現在の広さで必要十分であり、たくさんの人が利用しているにも関わらず、公園が小さくなることは反対である。</p> <p>夏には公園で盆踊りやビアガーデンを行うなど、地域の人たちにとっても重要な役割を果たしていると思う。病院の真横であっても、現在のように様々なイベントは実施可能なのか。</p> <p>駅近くに病院があるのは患者さんの利便性から良いとは思いますが、貴重な公園をなくすのはもったいないと思う。</p>	<p>にある高木を一部整備し、現在北側にある子どもの遊び場を、新病院の南側に整備します。あわせて病院の建物内に交流施設を整備することで、雨天時などにおいても子どもが安心して遊ぶことができるスペースを確保する予定です。</p> <p>なお、公園のリニューアルについては、今後地域の皆様の意見もお聞きしながら検討を進めていきます。</p> <p>いただいたご意見を踏まえ、若松公園のリニューアルについて、基本方針に追記します。</p>
8	<p>長田区の高齢化比率上昇を見込み、早期に西市民病院整備移転はいつか行われると予想していた。それが動き出し安心している。ただ、あの阪神・淡路大震災で避難場所となり、今後も緊急避難場所として利用されると思っていた若松公園に移転されるのは予想外だった。医療体制の充実は長田区人口増加に一役買うことも期待している。</p>	<p>若松公園に病院を整備することで、災害時には病院内に負傷者の受入れスペースを確保できるほか、備蓄品を保管することができ、防災機能の強化が期待できると考えています。</p> <p>なお、若松公園は引き続き屋外緊急避難場所として利用する予定です。新長田地域においては、若松公園とともに、周辺の公園や学校グラウンドを緊急避難場所として指定しています。</p> <p>また、新病院の整備により、新長田駅周辺の昼間人口増加によるにぎわい創出など、まちの魅力向上にもつながると考えています。</p>
9	<p>若松公園直ぐ横に住んでいるので、建設されるのであれば、病院からの視線（プライバシー確保の為）を遮る工夫と、鳩がとまれない設計を考えてほしい。鳩対策を怠ると、糞被害と景観も台無しになる。参考にして頂ければ助かる。</p>	<p>建設予定地は住宅に隣接していることから、病院整備にあたっては、近隣の建物への影響について法令遵守はもちろんのこと、プライバシー等への配慮や鳥獣対策についても検討を進めていきます。</p>
10	<p>数年後には荻原みさき病院の移転、近隣にも総合病院が複数あり、病院だらけになって</p>	<p>西市民病院は市街地西部の中核病院として、周辺の病院と医療機能の分担や連携を図</p>

	しまう。	り、それぞれが持つ機能を有効に活用することで、市民が安心して継続的に医療を受けられるなど、病院利用者の利便性向上につながるようにしたいと考えています。
11	1 番街から大正筋にかけての多くの空きテナントを有効活用できないか。	新病院に必要な規模を考えると、新長田駅南地区の国道 2 号より南側に建設予定地を確保することは困難であり、新長田 1 番街や大正筋などの商店街の空き区画についても新病院として活用することは難しいですが、新病院の整備により、昼間人口の増加や新たな需要の発生に伴う事業者の進出が期待できると考えています。
12	建設予定場所は決定なのか。国道 2 号線より南の商店街は廃れている。新長田合同庁舎は出来たが、人の流れは国道を越しては中々無い。西市民病院が国道より南に建設されれば、勤務者、見舞い客が商店街を通る。若松公園は新長田駅には近くて便利であるが、国道より北の店は潤っても、南まで足をのばさないのが現実になっていくと思う。新長田開発再生の最後の切り札になるかも分からないので、一考して頂ければ嬉しい。	

○今後の検討事項（3件）

	ご意見の内容	神戸市の考え方
1	新病院開業に伴い、市バス 17 系統の増便又は路線の見直しをしてほしい。	現在、令和 6 年度中の供用開始を目標に、バスロータリーの整備を含む新長田駅前広場の再整備を進めており、この整備にあわせて新長田駅を中心とした市バス路線の再編を実施したいと考えています。 市バス路線の再編にあたっては、西市民病院の利用者の利便性も考慮し、市民の皆様の意見をお聞きしながら検討を進めていきます。
2	公共交通機関でいけない場合、自家用車で通院する時の周辺駐車場を整備してほしい。	病院利用者の駐車場については、利用者の需要等を考慮のうえ、既存の若松公園地下駐車場を再編し必要な台数を確保するとともに、利用しやすい駐車場整備を進めていきます。
3	現病院跡地は、住宅（マンション）やスーパーではなくやはり医療関係の誘致を要望する。	西市民病院移転後の土地・建物については、貴重な資産であることから、将来の社会経済情勢等を考慮し、幅広い観点から検討を進めていきます。

○スケジュール（3件）

	ご意見の内容	神戸市の考え方
1	早くきてほしい。	新病院の開院時期については、令和 11 年度頃としておりましたが、事業スケジュールの再検討を行った結果、令和 10 年度の開院を目指すこととし、基本方針に記載します。
2	できれば1年でも早く移転してほしい。	
3	できるだけ早くに完成させてほしい。	

○その他（1件）

	ご意見の内容	神戸市の考え方
1	今は外来診察室の前で待っていないといけないが、新病院では隣接する公園や店舗等でも待ち時間を有効に過ごせる呼び出し機能などの整備を期待する。	待ち時間の短縮に向けては、現在の西市民病院においても、自動精算機及び会計番号表示システムの導入など改善を進めています。 新病院の整備にあたっては、引き続き待ち時間の短縮に努めるとともに、待ち時間の負担を和らげ、快適にお過ごしいただけるような設備や機能を検討していきます。

新西市民病院整備基本方針
～市街地西部における中核病院の再整備～

令和3年8月

神戸市

1	はじめに	1
2	西市民病院の現状と課題	2
	(1) 病院概要	2
	(2) 施設の状況と課題	3
	(3) 診療実績	3
	(4) 患者居住地	4
	(5) 主な役割	4
3	新病院のコンセプト・基本方針	5
	(1) コンセプト	5
	(2) 担うべき役割・機能	5
	(3) 必要な規模	6
4	建設予定地	7
5	今後の検討事項	10
6	スケジュール（予定）	10

1 はじめに

神戸市立医療センター西市民病院（以下「西市民病院」という。）は、昭和45年1月に現在の位置に開院し、施設の増改築等を繰り返しながら地域の医療需要を踏まえた対応を実施してきましたが、今後の医療技術の進歩等への対応においては施設が狭あい化していることに加え、一部の建物では竣工から約30年が経過するなど施設の老朽化も課題となっています。

今後、人口減少や高齢化の進展及び外国人数の増加等が予測される中で、西市民病院が市街地西部（兵庫区・長田区・須磨区本区）の中核病院として、どのような役割を担っていくべきか方向性を示していくことが必要です。

このような経緯のもと、令和2年8月から5回にわたり「西市民病院（市街地西部の中核病院）のあり方検討に係る有識者会議」を開催し、学識経験者、医療関係者、市民病院関係者、地元関係者等の委員により、本市の医療の現状や動向、西市民病院が抱える課題等を踏まえ、市街地西部の中核病院としてのあり方について検討を重ねてきました。その結果、今後も市街地西部の中核病院としての役割を果たしていくためには、移転新築による再整備が望ましいというご意見をいただきました。

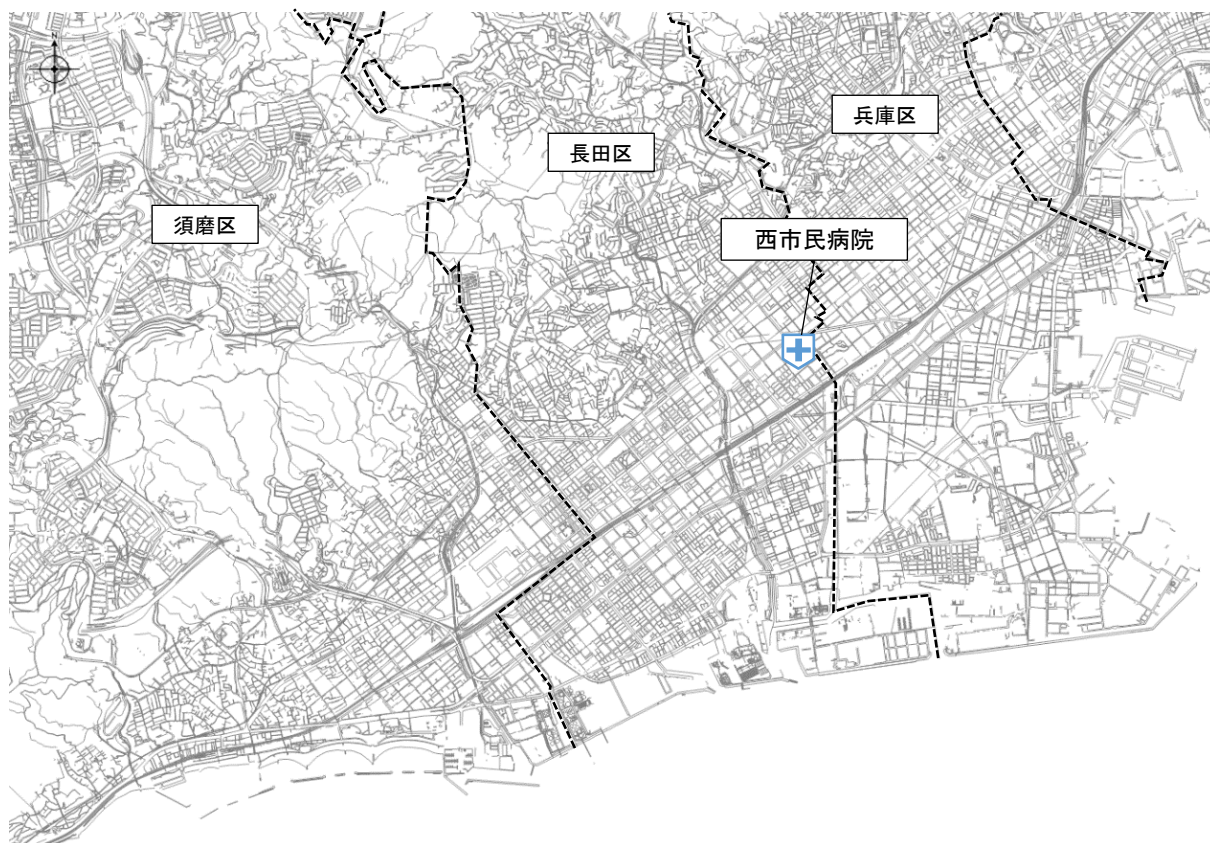
「新西市民病院整備基本方針」は、有識者会議から提出された報告書及び市民の皆様のご意見等を踏まえ、西市民病院の再整備について、本市の基本的な考え方を整理したものです。

2 西市民病院の現状と課題

(1) 病院概要

- ・所在地 : 神戸市長田区一番町2丁目4番地
- ・敷地面積 : 7,244 m²
- ・延床面積 : 28,813 m²
- ・病床数 : 358床 (うち救急9床、HCU7床、身体合併4床、未熟児2床)
- ・診療科目 : 27診療科

位置図



※ 区境は参考

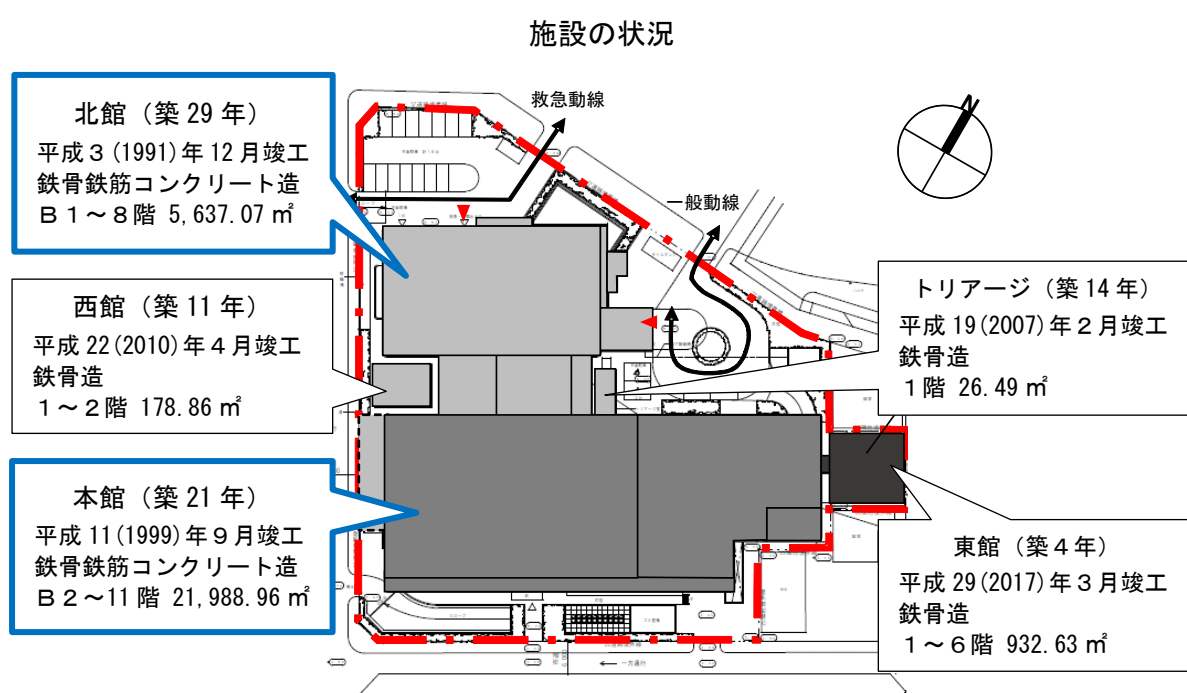
外観写真



(2) 施設の状況と課題

西市民病院は、阪神・淡路大震災前から施設の増改築等を繰り返しながら、地域の医療需要を踏まえた対応を実施してきましたが、特に手術室や救急外来等の主要な機能がある北館は築29年を迎え、配管設備を中心に老朽化が進んでいます。

また、近年の医療の高度化・複雑化への対応のため、建物の増改築や職員の増員を進めてきましたが、敷地内に建物を増築する空地がなく、容積率もほぼ上限に達していることから現状以上の延床面積の確保が難しくなっています。そのため診療に必要な高度医療機器等を導入するスペースもなく、政策的医療（救急、小児・周産期、感染症・災害）を含めた医療ニーズへの対応が困難な状況にあり、災害時や感染症対応時などの機能確保にも課題があります。



(3) 診療実績

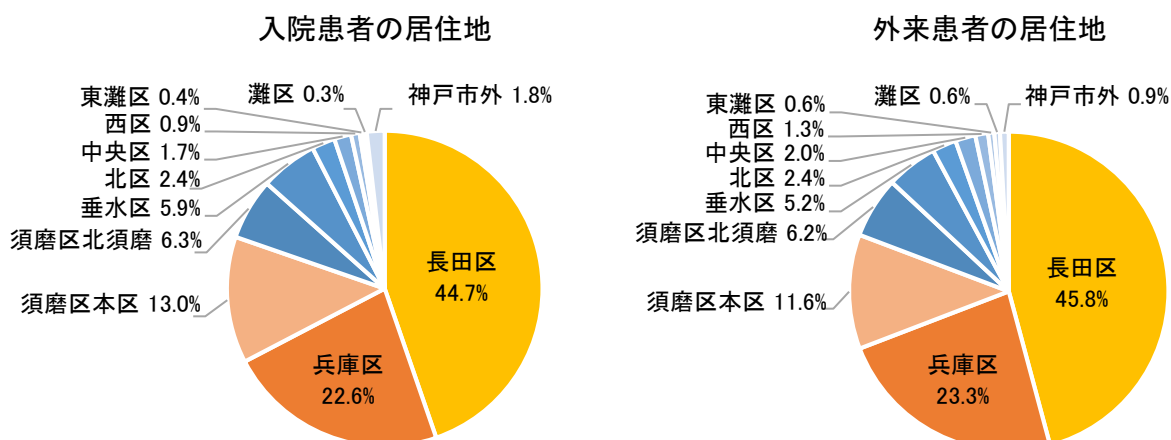
西市民病院の診療実績は上昇傾向にあり、市街地西部の中核病院として多くの患者を受け入れています。

項目	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
入院患者数	96,039人 (263.1人/日)	116,412人 (318.1人/日)	115,418人 (316.2人/日)	114,870人 (314.7人/日)
外来患者数	183,159人 (753.7人/日)	211,662人 (881.9人/日)	201,889人 (827.4人/日)	202,873人 (831.4人/日)
救急患者総数	12,585人 (34.5人/日)	15,710人 (42.9人/日)	15,009人 (41.1人/日)	13,967人 (38.3人/日)

※ 令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により減少

(4) 患者居住地

西市民病院の患者の約80%が市街地西部に居住し、さらに区別で見ると約45%が長田区となっており、地域密着型の病院であることが分かります。



※ 平成30年度実績

(5) 主な役割

西市民病院は、市街地西部の中核病院として、がんをはじめとして安全で質の高い急性期医療を提供するとともに、政策的医療等において以下のような役割を担っています。

項目	内容
救急医療	・ 毎日24時間体制で2次救急に対応 (市街地西部で救急車受入れ件数最多)
小児医療	・ 市街地西部唯一の小児病床を持ち、小児2次救急に対応
周産期医療	・ 市街地西部唯一の周産期対応総合病院 ・ 正常分娩を中心にハイリスク妊娠・ハイリスク分娩等へ対応
災害医療	・ 長田区内で唯一の災害対応病院
認知症患者に対する医療	・ 認知症疾患医療センターとして、認知症進行予防から地域生活の維持まで必要な医療を提供
生活習慣病患者への取り組み	・ 生活習慣病患者に対する3次予防から2次予防の取り組み ・ 市民を対象とした各種教室を開催
その他	・ 地域医療支援病院、がん拠点病院に準じる病院 等

また、新型コロナウイルス感染症への対応においては、中央市民病院が重症・中等症患者対応、西市民病院及び西神戸医療センターが中等症・軽症患者対応を行い、神戸市内の入院患者の約5割（令和3年8月15日時点）を市民病院3病院で受け入れており、市民病院としての役割を果たしています。

3 新病院のコンセプト・基本方針

(1) コンセプト

① 救急医療、感染症・災害医療の強化

神戸市全体の3次救急を補完するため、市街地西部において、より高度な急性期医療を提供するとともに、新興感染症・災害対応の機能を強化します。

② 地域包括ケアシステムの推進

地域医療機関との連携及び中核病院としての役割を強化し、地域内で診療を受ける割合（受療の完結率）を高めることで、住民に切れ目なく必要な医療を提供します。

③ まちづくりや地域活性化に寄与

公共空間との一体的な整備や周辺施設との機能連携により、人々が交流できる憩いの場として、にぎわいのあるまちづくりや地域活性化に寄与します。

(2) 担うべき役割・機能

新病院は、なくてはならない社会インフラとして、あらゆる世代の住民に対して安全で質の高い急性期医療や、救急医療、小児・周産期医療、感染症・災害医療などの政策的医療を提供し、市街地西部における中核病院としての役割を果たし続けます。

市街地西部の中核病院として総合的な診療機能を向上させるため、認知症や糖尿病等生活習慣病への対応などの現在の役割を維持するとともに、以下の主な診療機能を強化します。

項目	診療機能
救急医療	<ul style="list-style-type: none">・ 神戸市全体の3次救急を補完するため、民間病院では対応が難しい2次救急の中でより高度な診療機能を担う・ 重症化の恐れがある心血管疾患、脳血管疾患への対応強化により標準的な診療体制を構築し、地域医療機関との連携のもと、中等症救急搬送を市街地西部内で完結させる
小児・周産期医療	<ul style="list-style-type: none">・ 市街地西部で唯一の総合的な小児・周産期病院として、診療機能を堅持・強化し、地域の活性化に寄与する
感染症・災害医療	<ul style="list-style-type: none">・ 新興感染症への対応のため、第二種感染症指定医療機関と同程度の機能・体制を確保する・ 長田区内で唯一の災害対応病院として、大規模災害時にも診療機能を継続するため、医療スタッフやインフラ、トリアージ等のスペースを確保する
がん	<ul style="list-style-type: none">・ がん治療の機能強化により、市街地西部内での治療の完結率を向上させ、地域住民の通院治療の負担軽減及び就労者の治療支援につなげる（放射線治療機能の導入検討など）
脳卒中・心血管疾患	<ul style="list-style-type: none">・ 地域医療機関との連携のもと、複数疾患を持つ高齢者の増加に対応するため、総合的な診療機能を向上させる

(3) 必要な規模

市街地西部の中核病院として安定的に急性期医療を提供するとともに、新興感染症への対応等を強化する必要があるため、現在（358床）と同程度の病床数を確保します。

また、1床あたりの面積は、医療の高度化や複雑化に対応し、神戸市全体の3次救急を補完するため、中央市民病院や西神戸医療センターと同程度の約100㎡を確保します。

4 建設予定地

神戸市長田区若松町6丁目及び日吉町1丁目 若松公園の一部

《立地の考え方》

- ① 入院から通院治療への移行傾向も踏まえ、駅やバス停などの公共交通機関に近い立地とすることで、移動が困難な高齢者や働きながら通院する患者など、多くの市民にとって利便性の向上が期待できる。
- ② 災害時において診療機能を継続するため災害リスクの低い立地であり、公園との一体的な整備により大規模災害時などの非常事態の際に公園部分を活用し、トリアージや医療スタッフ受入れ等のスペースを確保することができるなど、防災機能の強化が期待できる。
- ③ 鉄人28号モニュメントをシンボルとした地域密着型の急性期病院として、地域住民が利用できる交流施設の整備や公園機能の再構築を行うことで、地域社会と地域医療をつなぎ、にぎわいのある憩いの空間づくりが期待できる。
- ④ 病院整備による昼間人口の増加（医療従事者を含む1日あたり約2,000人）や小児・周産期医療の安定的な提供（出産・子育て支援、病児保育の実施等）により、新長田駅前の拠点性の強化や若者の移住促進が期待できる。

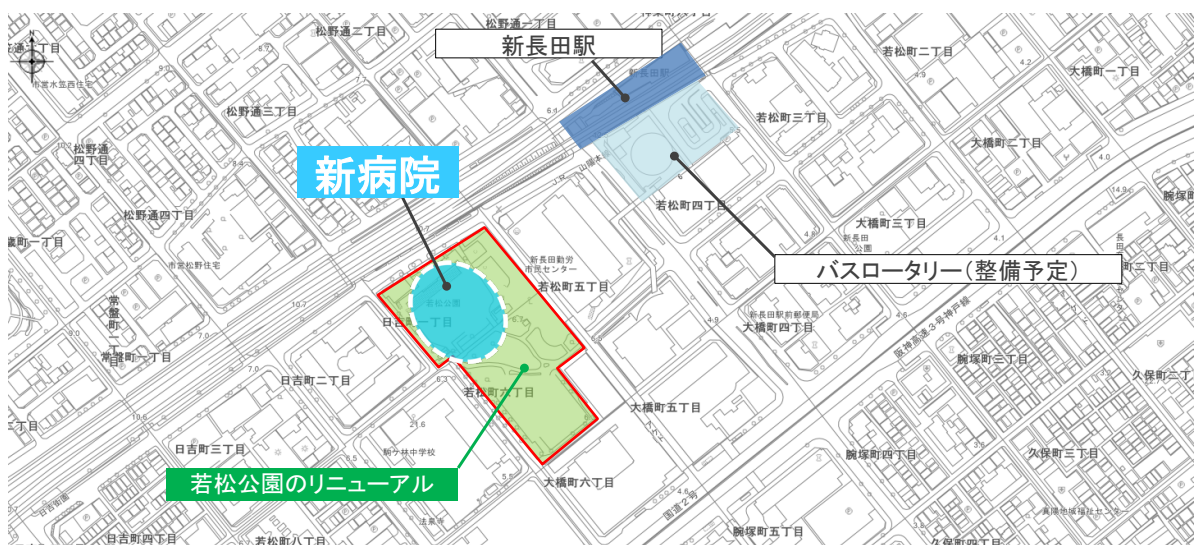
※ 病院の建物規模は、1床あたり約100㎡の面積を確保できるよう今後検討します。

位置図



※ 現在の西市民病院から、西側へ約 1.5 km 移動します。

建設予定地イメージ

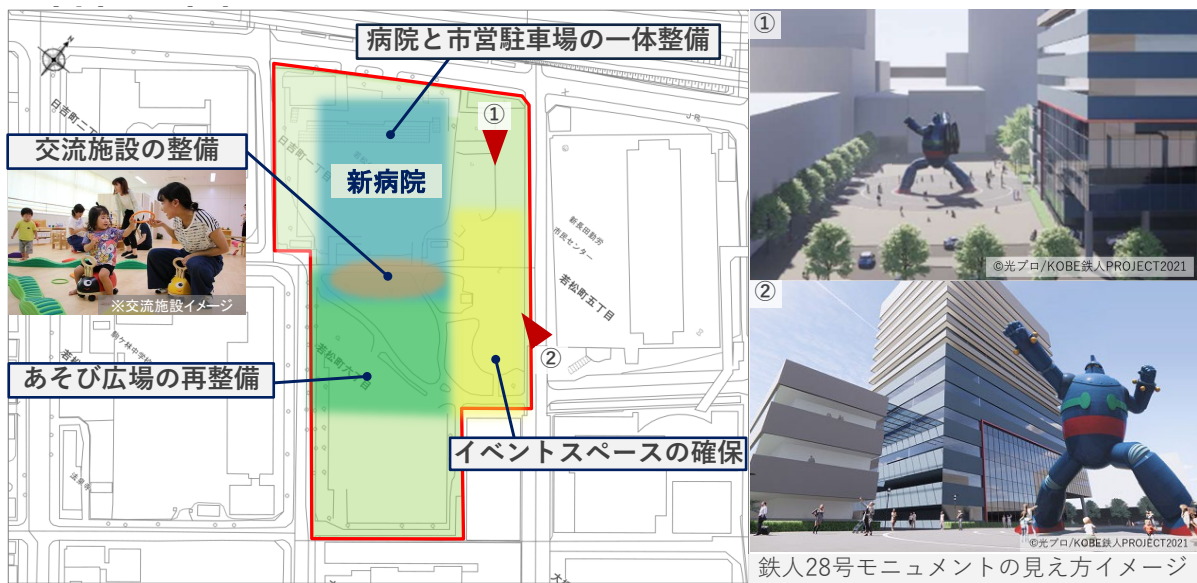


※ 建設場所はイメージであり、公園や市営駐車場機能の再編・代替計画によって変わる可能性があります。

《若松公園のリニューアルについて》

- ・ 新病院整備に併せて若松公園全体をリニューアルすることで、公園の持つレクリエーション機能を維持するとともに、新長田駅周辺のにぎわいを創出し、まちの魅力を向上させます。
- ・ 現在公園北側にある子どもの遊び場は、新病院の南側に再整備するほか、病院内に雨天時などにも利用できる子どもの遊び場など、子育て環境の向上に資するような交流施設の整備を検討します。
- ・ 鉄人広場は、従来のイベント機能を継続できるよう、現状のままイベントスペースとして確保します。

若松公園のリニューアルイメージ



※ リニューアルのイメージであり、医療機能の検討や、公園・市営駐車場機能の再編・代替計画によって変わる可能性があります。

5 今後の検討事項

今後新病院の整備にあたっては、有識者会議の報告書や市民の皆様のご意見を踏まえるとともに、以下の項目について引き続き具体的な検討を行います。

- ・ 公園及び市営駐車場の再編及び代替機能の確保
- ・ 交通アクセスの検討（市バス路線の見直しなど）
- ・ 財務シミュレーションや高度医療機器導入の際の採算性の検証
- ・ 近年の傾向を踏まえた設計・工事等の発注方式等の検討
- ・ 現病院跡地の利活用方法の検討

6 スケジュール（予定）

令和3年度	基本構想の策定
令和4年度	基本計画の策定
令和5年度～	設計・工事
令和10年度	新病院開院（開院まで現病院の運営は継続）